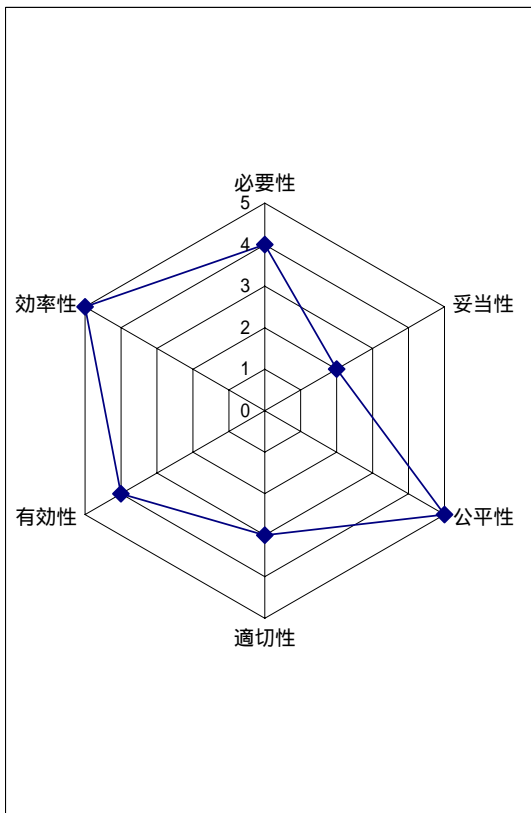


事務事業名	観光物産センター事業	担当部局	市長部局 産業経済部
基本目標	豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり(産業)	担当課名	商工観光課
施策体系	豊かなふれあいとにぎわいのある商業・観光の振興	担当係名	観光係
施策	さまざまな交流を進め、地域の活力の創造に努める		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	観光と伝統工芸品、物産品等を広くPRするための情報発信の拠点として観光物産センターに観光ボランティアガイドを常駐させ、観光案内を行う。		
事業の期間(開始/終了)	平成16年	5月/	年月
根拠法令、条例、規則など			
事業が対象としている人(モノ)	観光客		
具体的な活動内容	観光ボランティアガイド協会に委託		
	観光ボランティア協会運営		
	実績の提出		
	支払		
事業の成果	観光誘客		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い
	結城市の観光情報や物産に関する情報を手に入れられる施設があることは観光客にとって便利である。また単に情報の提供を行なうだけではなく、必要ならボランティアガイドと一緒に案内することもあり、観光客から好評である。
妥当性	2 民間等でも実施できる(実施している)事業である
	観光物産センターは行政財産であるため、市の事業として運営しているが、施設の役割など全体を勘案すると民間業者でも実施可能である。
公平性	5 広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない
	観光客が相手であるが、観光誘客を進めることで結城市の知名度を高めるなどのメリットがあり、特定個人や団体に偏っている事業ではない。
適切性	3 どちらとも言えない
	ボランティアガイド協会は結城市の観光にもっとも精通しているため、この事業を委託している。
有効性	4 概ね目標水準に達している
	観光客からも好評であり、結城市のイメージアップにも一役買っている。
効率性	5 効率は相当高められている(相当なコスト低減が図られている)
	委託しているとはいえ、スタッフの常駐時間でみると些少な金額で運営をしているため、これ以上のコスト効率化は不可能である。また、人員についても常時1名の常駐であり、これ以上の効率化は不可能である。

総合評価	運営を観光ボランティアガイド協会に委託しているため、ボランティアガイド協会会員の指導が必要になる。また、協会員の高齢化により会員数の減少など協会の運営に問題が生じると運営にも影響がでる。
------	---

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	観光情報の拠点施設としてボランティアガイド協会に案内及び観光施設の紹介を行なっているが、センタースペースを考慮して、観光施設の照会内容等(例えば、パネルによる紹介とか、写真による紹介等)を検討する。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	本市の観光と伝統的工芸品、物産品の情報発信基地として引き続き事業展開を図る。			